
日本放送協会 理事会議事録

(平成30年 1月16日開催分)

平成30年 2月 2日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成30年 1月16日(火) 午前9時00分～9時10分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、根本理事、松原理事、荒木理事、黄木理事、
大橋理事、菅理事、中田理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

(1) 「NHK経営計画(2018-2020年度)」について

議事経過

1 審議事項

(1) 「NHK経営計画(2018-2020年度)」について

(経営企画局)

「NHK経営計画(2018-2020年度)」(以下、「経営計画」)について、審議をお願いします。

今回の経営計画のタイトルは、「大切なことを、より深く、より身近に～“公共メディア”のある暮らし～」と付けました。これからの時代、NHKはどのようにコンテンツを提供していけば、「情報の社会的基盤」として期待に応えることができるのかを考え、表現したものです。メディアが多様化しても、日々の生活に欠かせない、より身近な存在のNHKでありたいという思いを込め、掲げたタイトルです。

「NHK経営計画(2015-2017年度)」で掲げた「NHKビジョン2015→2020」の第2ステップと位置づけ、2020年に最高水準の放送・サービスを実現することを目標とし、前文には、「“公共メディア”実現へ」と見出しをつけました。公共放送の基本姿勢を堅持し、NHKの使命を果たしていきます。

“公共メディア”として放送・サービスを展開していくにあたり、目的を明確にするために、「NHKが実現を追求する『公共的価値』」を整理しました。「①正確、公平・公正な情報で貢献」、「②安全で安心な暮らしに貢献」、「③質の高い文化の創造」、「④地域社会への貢献」、「⑤日本と国際社会の理解促進」、「⑥教育と福祉への貢献」の6つです。放送と通信の融合時代に、視聴者の期待にしっかり応えられるよう、放送を太い幹としつつ、インターネットも活用して「公共的価値」の実現を追求し、「情報の社会的基盤」としての役割を果たします。関連団体を含めNHKグループが、一丸となって「第一級のコンテンツ創造集団」を形成し、効率的で透明性の高い経営を実践し、「働き方改革」を進めながら、全力で課題に取り組んでいきます。魅力あふれる放送の追求と、視聴者のみなさまの日々の暮らしに役立つ新しいサービスの具体化に取り組み、「公共メディア」実現の礎を築きます。

3か年の重点方針には、「1. “公共メディア”への進化」、「2. 多様な地域社会への貢献」、「3. 未来へのチャレンジ」、「4. 視聴者理解・公平負担を推進」、「5. 創造と効率、信頼を追求」の5つの重点方針を掲げました。

この経営計画の達成状況については、経営指標とVFM、新たに開発する指標などにより、進捗状況を検証します。

また、3か年の収支計画については、受信料収入の増加と業務全般にわたる経費の削減によって一定の財源を確保し、放送・サービスの充実を図るとともに、受信料体系の見直しを行います。また、「受信料制度等検討委員会」の答申や、視聴者のみなさまの声などを踏まえ、3か年で170億円規模の受信料の負担軽減策を実施します。

3か年の収支計画については、「受信料をはじめとする収入の増加の確保」、「経営計画の重点事項などへの財源配分と経費の削減」、「受信料の負担軽減策の実施」をポイントに策定しています。

本件が了承されれば、本日開催の第1298回経営委員会に議決事項として提出します。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり了承し、本日の経営委員会に諮ります。

注：「NHK経営計画（2018－2020年度） 大切なことを、より深く、より身近に～“公共メディア”のある暮らし～」は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」に掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成30年 1月30日

会 長 上 田 良 一